

【第8回佐賀県豚熱対策会議】 9月1日（金）10:30

農林水産部長／2例目は、飼養規模約1万頭と説明してきたが、哺乳豚は含まれていない。このため、殺処分頭数は1万頭を上回る。

防疫措置は、昨夜20時に開始。本日10時現在の作業進捗は、子豚を中心に処分頭数1,886頭。埋却溝は、31m掘削。

消毒ポイントは、畜産関係車両箇所を新たに3か所設置。多久インター付近、武雄市若木、太良町系岐。

防疫作業の動員数は664名。8時から第6クール目がスタート。

- ・自衛隊は、2例目の農場で約200人が5交代で実施。
- ・佐賀県建設業協会、唐津防災対策協議会は、埋却作業、消毒ポイントでの消毒作業を支援。
- ・県警は、消毒ポイントを中心に誘導と警戒を担当。
- ・佐賀県バス・タクシー協会は、動員者の送迎バスを提供。これは、佐賀市内に集めた動員者を唐津まで運ぶ。また、他県から応援に来られた獣医師の送迎も。
- ・佐賀県トラック協会は、防疫資材を備蓄倉庫から現場まで輸送。
- ・その他、食料、飲料の供給支援。ほっともっと、Aコープ、セブンイレブンからサポートセンター等に食料、飲料を配送してもらっている。

他県に9月7日までの獣医師の派遣を要請したところ、29都道府県42名、国の機関、動物検疫所を合わせ計45名の獣医師に応じてもらった。既に今朝から広島県の派遣獣医師が防疫作業に入っている。

1例目は、昨日の19時30分に殺処分が終了した。

危機管理防災課／气象台の天気予報では、今日が曇り時々雨。土曜日～火曜日は晴れ又は曇り、水曜、木曜は曇り一時雨。

今日の最高気温は29℃の予報だが、明日以降は連日33～36℃になる見込み。

知事／明日以降は暑いようなので、作業時間は調整してもらいたい。

防災監／今日は気温が低いので、熱中症に注意しつつ昼間も作業を行いたい。今後の気温次第で調整する。

知事／天候と体調を見極めながら対応してほしい。

防災監／昨日20時に作業を開始、夜も継続した。現在、順行運転に入ったと言える。小さなトラブルへも随時修正をしながら順調に対応できている。今日は、昼間も作業を行いたい。埋却地の掘削は、建設業協会が徹夜で作業に当たっていただき、順調に

進んでいる。1例目の農場は現在最終の埋却作業中で、昼頃に完了予定。

応援をいただいている皆様に感謝を申し上げます。安全第一で作業を進めたい。この後、現地本部を竹木場公民館に移設する。

県土整備部長／消毒ポイントの畜産車両関係の2か所は、JAからつ畜産部で31台、山に近い204号の現場で82台、計113台の消毒作業を終えた。トラブルもなく順調だった。追加の3か所は、本日中に運用できるだろう。

知事／ここで全力を尽くして感染を食い止め、周辺の豚舎への感染を防止したい。近隣農家の様子は？

農林水産部長／発生農場から3km以内の7農場から、異常の通報はない。

知事／感染が広がらないことが何より大事。2つの豚舎から発生して数日たつが、原因も不明で小動物たちの行動範囲もわからない。消石灰を配布しているため、自衛で封鎖してもらおう。この2か所で終わるよう全力を尽くす。

農林水産部長／これ以上広がらないよう、7農場の監視・指導を強化したい。

知事／範囲が狭いときに封じ込める努力を惜しまないこと。発生した2か所の対応は万全に。

落合副知事／県内農場へ配布した石灰の散布は、各農場とも済んだのか。

農林水産部長／全県の確認は取れていない。農家自身に危機感があり、農家の要望で消毒ポイントを3か所追加した。各農家が、配布した石灰は散布していると思う。

知事／まだ日数がかかるため、各部とも人員のローテーションをすること。

現地本部は疲弊しているため、現地以外から支援要員を送るようにしたい。全体に持続可能なオペレーションになるよう編成しましょう。

自衛隊／陸上自衛隊西部方面混成団です。昨夜より約200名体制で防疫措置を実施。200名を2つのチームに分け、1つのチーム内に5個の作業班を設定し、ローテーションしながら連続して活動。まず、哺乳豚に対する措置を行い、現在は母豚等に対する措置を実行中。引き続き安全に実施する。

健康福祉部長／昨夜から現時点まで、体調不良者の報告はない。作業者に疲れが見えるため、ポカリスエットを渡すなど保健師から積極的に水分補給の呼びかけをしている。うがいをしたいとの申し出があったため、紙コップ等を用意。ハンドソープ等が不足していたため、補充の要請をしている。

設置しているトイレの下がぬかるみ、汚れがあったため、保健師が清掃。衛生面に気を遣い作業している。

埋設地の外周から 150mの範囲内にある飲料用の井戸は、水質検査をする規則がある。昨日、2か所目の埋設地近くの井戸を確認したが、飲用ではなく水質検査等の対象外だった。

知事／防護服を着用するとトイレにも行きにくく、苦勞していると思う。また、鳥インフルエンザのときのような、精神的な辛さが見受けられないか。

健康福祉部長／まだその報告はない。

農林水産部長／何らかのストレスはあるだろう。今までは農林水産部が中心だったが、これから一般の女性職員も参加する。

知事／慣れていない人にはフォローが必要。みんな心を痛めながら処理をしている。ぜひ心のケアをお願いしたい。

皆さんの様々な支援でこの活動が成り立っている。建設業協会、自衛隊、各都道府県の応援など、全ての支援の皆さんに感謝申し上げる。

順行路線のめどがたってきた。フォローアップしつつ、課題への対応と必要な支援を講じる。現地中心にオペレーションを回すため、本庁からも支援する。

対策本部会議は、朝と夕の2回、時間を決めて定期的に確認する。特別なことがあれば緊急招集する。

順行路線で収束させるためには、拡大防止が何より大事。鳥インフルエンザと同様、オペレーションをしながら、拡散を防止し封じ込められるように努力を続けたい。